

本県の教育目標

○ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性を培う
○じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
○郷土を愛し 協力し合う心を育てる

学校教育目標

自ら学び自ら考え人間性豊かな
たくましい児童の育成

境町の教育目標

○他人を思いやり、道徳心のある人間
○自ら学び、考え、行動する個性と想像力豊かな人間
○郷土を愛し、感動する心をもつ人間

キャッチフレーズ

「さわやかあいさつ かしこく輝く いきいき活動」

めざす学校像

○明るく楽しい学校
○きれいな学校
○地域と共にある学校

めざす児童像

○進んで学習する子
○仲良く励まし合う子
○健康でよく働く子

めざす教師像

○子どもを大切にする教師
○指導力のある教師
○情熱と使命感のある教師

〈本年度の組織目標〉

考え伝え合う場（書く活動・プレゼンテーション活動）の設定を工夫して自ら考え、学び行動できる力を育成する。

学校教育目標具現化のための3つの柱

思いやりの心を培うために
さわやかあいさつ

確かな学力を身に付けさせるために
かしこく輝く

たくましい心身を育てるために
いきいき活動

1 学級・学年づくりの充実

○さわやかなあいさつ、あったかことばを交わされる場
○いじめはぜったい許さない意識の育成
○素直に「ありがとう」と言える感謝の心・態度の育成
○Q.U.テストの適切な活用

2 「リーダー・イン・ミー」を生かした教育実践

○境町特色を生かした活動
○7つの習慣を学ぶ特別活動
○一人一人のリーダー性を生かした活動の工夫

3 一人一人の個性が尊重され受け入れられる教育の充実

○人權教育の充実
○道徳の授業を充実させ、自他を認め合う心の育成
○特別支援教育の充実 特別支援学校等との交流

4 ボランティア活動の充実

○E.S.D.の視点による教育活動
○ボランティア習慣の実践

1 基礎基本の定着と学習習慣の徹底

○姿勢・発達の仕方
○話の聞き方
○家庭学習の定着
○読書活動の推進（「みんなにすすめたい一冊の本」推進事業の充実・読み聞かせ）

2 興味関心を高める授業づくり

○単元や題材設定の工夫
○体験活動及び創作活動の推進

3 分かる授業の充実

○専科授業の充実
○少人数指導・個別指導の充実
○交流の工夫（コロナ禍の中での工夫）

4 英語学習の充実

○「スイッチオン」による学習の充実
○SGS事業の推進

1 安心安全な学校生活の推進

○事故防止の徹底（日常的な意識付け）
○交通安全教室の実施と危険箇所の点検（毎月）の実施
○学期ごとの避難訓練（地震、不審者、火災）の実施
○状況に応じた「てんでんこ」避難訓練の実施

2 体力づくりと健康教育の充実

○基本的な生活習慣の定着
○体力テストの結果の活用と体育の充実
○コロナ禍の中での授業の工夫
○健康診断の結果を生かした取組
○地域スポーツとの連携

3 清掃・作業を通した勤労の心の育成

○一人一人の役割を意識させる清掃活動

4 学校HPによる情報発信

○子どもたちの生き生きとした生活の発信

ICTの活用を積極的に推進する（一人一台端末・大型テレビ等） 【授業の中で・教育活動の中で】

言 平 価（PDCAサイクルに基づく改善を行っていきます。）

1 「思いやりの心を培うために」

○「あったかことば・あいさつ・感謝の気持ちをもつ」等の児童の肯定的評価90%以上を目指す。
○学校評価「いじめはぜったいゆるさない」児童の割合（あてはまる+だいたいあてはまる）「全学年100%」を目指す。
○Q.U.テストの結果分析を生かした学級づくりの改善

2 「確かな学力を身に付けさせるために」

○「茨城県学力診断のためのテスト」の正答率で「茨城県平均以上」を目指す。
○4年生からの「50冊以上の読書をする児童」の割合「100%」を目指す。
○毎日家庭学習に取り組む児童の割合「全学年90%以上」を目指す。

3 「たくましい心身を育てるために」

○体力テスト結果A級+B級の児童の割合で「茨城県平均以上」を目指す。
○交通事故発生件数0を目指す。
○早寝早起き朝ご飯運動の実践率で前年度より向上を目指す。

☆働き方改革の実践

- ・教職員一人一人が勤務時間外在校時間を意識し、目標値を設定する。
- ・一人一人の児童と向き合う時間の確保に努める。・環境整備を進め、業務改善を図る。

境 小 の 特 色

1 情熱ある教職員

「共通理解」「協働意欲」「コミュニケーション」をモットーに、一丸となって児童の教育に全力を尽くします。

2 歴史と伝統ある学校

創立149周年を迎え、長い伝統と歴史、確かな教育実績を誇ります。

3 地域の方との連携・協力

地域のたくさんの方々から本校教育にご協力をいただいています。